



↑ たいいくかん つか ぶ たい げきちゆうげき くま ゆみ
↑ 体育館をいっぱいに使った舞台 劇中劇「熊と弓」よりー



作者から皆さんへ
(上演にあたって)

「生きるのって楽しい」
ほくは生まれてからこ
れまで、おとうさん、お
かあさん、おじいちゃ
ん、おばあちゃん、た
くさんの友だち、近所のお
じさん、おばさん、いろ
んな人に支えられて、六
十歳を過ぎることができ
ました。そして今はお芝
居をしながら、楽しくて
楽しくてしかたのない毎
日を送っています。

子どものころは自分が
嫌いで、友だちがうらや
ましくて、ときどき生き
ていくのがつらいと思っ
こともありました。

今、悩んで苦しい気持
ちになっっている人もい
るかもしれません。そんな
人がこのお芝居をみて、
「生きるのって楽しい」
と感じ、少し元気になっ
てもらえたら、ほくは幸
せです。

がっこうじゅんかいこうえんじぎょう
「学校巡回公演事業」

しょうがっこう ちゅうがっこう ぶんかげいじゆつだんたい じつえんげいじゆつ じゅんかいこうえん おこな ことども
小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、子供たちが質の高い文化芸術を
鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力な
どを養い、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。

ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。
また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。



■劇をつくった人
 作・脚本 田中つとむ
 演出 中島研
 音楽 曲尾友克
 美術 浅野井優子
 制作 森恭次郎

■出演者
 島ちゃん 川島夏
 たっつあん 大堀鷹
 ・ますだ屋 鈴木暢海
 ブーヤン 宮澤衣蒨
 ・ますだ屋 小林風生子
 斉藤 小森恵理
 安田・DJ 星野恵理

劇団風の子大道具プロジェクト

あらすじ

小学四年生の男子四人と女子がひとり、そんな五人の物語。自分たちがつくったひみつ基地がマンションの建設のため壊された。「くそっ！」
 皆、走って走って走って…、着いたところは橋の下。
 「新しいひみつ基地をつくるまでは、ここを集まる場所にしよう！」
 今度の学年お楽しみ会の出し物に、自分たちのやりたいことをやろうと言いだしたものの、歌は無理だし、ダンスはもっと無理。
 「じゃ、劇やらない？」「えー！」と劇に決まる。
 テキスト「小学校劇の本」を読みながら、斉藤は、ますだ屋のおぼさんから借りた本「熊と弓」を台本にして、五郎ちゃん、たっつあん、ブーヤン、島ちゃん、そして女神の役をクラスの人気者安田さんに頼むことになり、六人での劇の練習が始まった。しかし、いろんな困難が押しよせてくる。さあ、六人はこの大きな壁を乗り越えることができるのでしょうか…。

劇団風の子

フロンツ

劇団風の子は、第2次世界大戦が終わってすぐの1950年に、子どもたちのための専門劇団になろうと創立しました。

それからもう73年になります。ずっと日本中の学校をまわったり、世界のいろいろな国の子どもたちに劇をみてもらってきました。

劇をしながら、世界が平和になることや、子どものみなさんが、自分の目で物事を見、自分の頭で考え、自由に未来にはばたいていくことができることを願っています。